

1. 長寿命化計画の背景と目的

◆背景

- 豊橋市が管理する豊橋駅東口自転車等駐車場と豊橋駅西口自転車等駐車場は建設から20年以上が経過し、二川駅南口自転車等駐車場は10年以上が経過し老朽化が進んでいます。
- 経年進んでいる老朽化を放置すると、補修費用の増大や収入減少等から、財政負担が増し、適切な維持管理が困難になる可能性があります。

◆目的

- ①将来の負担軽減による安定した財政運営
- ②時代に応じた適正かつ安全・安心な公共施設などの提供
- ③既施設を活用したより良い駐輪サービス提供

◆対象施設

本計画では、豊橋駅東口自転車等駐車場、豊橋駅西口自転車等駐車場、二川駅南口自転車等駐車場を対象とします。



①豊橋駅東口自転車等駐車場



②豊橋駅西口自転車等駐車場



③二川駅南口自転車等駐車場

2. 施設の健全性

◆健全性の診断

A) 躯体

シェッド、大型カルバート等定期点検要領に準じて、必要な知識及び技能を有する者が近接目視により点検し、健全性を以下の4区分（Ⅰ～Ⅳ）に判定しました

区 分				定義
維持 保全	予防 保全	Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
		Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
	事後 保全	Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
		Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべき状態。

B) 設備

必要な知識及び技能を有する者が点検結果の確認、目視点検、保守業者へのヒアリング等により健全性を確認しました。また、今後の保守点検の効率化を図る設備台帳を作成しました。

◆定期点検の結果

①豊橋駅東口自転車等駐車場

天井部のコンクリート片が落下する可能性のある箇所があり、健全度Ⅲと判断しました。設備は耐用年数を超えていることから、順次更新する計画とします。

②豊橋駅西口自転車等駐車場

天井部のコンクリート片が落下する可能性のある箇所があり、健全度Ⅲと判断しました。設備は耐用年数を超えていることから、順次更新する計画とします。

③二川駅南口自転車等駐車場

躯体の損傷はすべて軽微であり、健全度Ⅱと判断しました。
設備は耐用年数を超えているものではありませんでしたが、脱落のおそれがあるものは更新する計画とします。

3. 施設保全に要する対策工法の検討

◆躯体の対策内容

点検で確認されたそれぞれの変状と、変状に対する補修内容を以下に示します。

表 劣化の種類と補修工法

①豊橋駅東口自転車等駐車場		②豊橋駅西口自転車等駐車場	
劣化の種類	補修工法	劣化の種類	補修工法
天井部コンクリートのうき	剥落対策	天井部コンクリートのうき	剥落対策
塗装劣化	再塗装	塗装劣化	再塗装

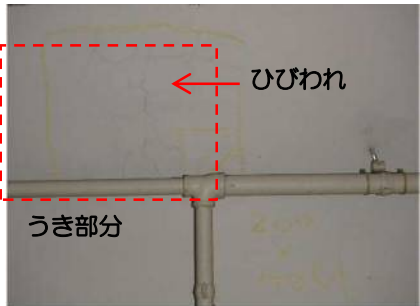


写真 天井部コンクリートのうき



写真 剥落対策



写真 塗装劣化



写真 再塗装

長寿命化計画における修繕費用試算にあたり、一般的な工法を採用しました。

◆設備の対策内容

豊橋駅東口自転車等駐車場と豊橋駅西口自転車等駐車場の設備はすでに耐用年数を超えていることから、順次更新する計画とします。

4. 施設改良の検討

◆駐輪場の利用促進策の検討

①トイレの改良

地下施設にある薄暗い印象のトイレを利用者が使いやすいよう清潔感のあるトイレに改良。



清潔感のあるトイレへの改良

◆将来的に導入を検討する事項 <現時点の導入は難しいが、技術革新を待つ>

- ①ラックの改善検討（油圧式、電子式等）
- ②24H化・人件費削減のための新たな駐輪方式の検討（ハンズフリーゲート等）
- ③大型自転車（高齢者用自転車、チャイルドシート付自転車等）用エレベーターの検討



ラック改善



ハンズフリーゲート式



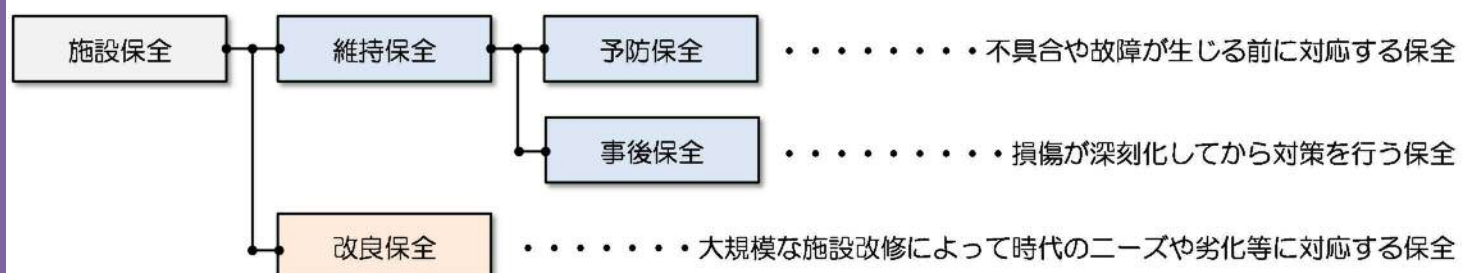
駐輪場エレベーター

（※イメージ図）

5. 長寿命化計画の策定

◆保全の分類の方針

保全の分類は、「豊橋市公共施設等総合管理方針 平成29年3月豊橋市」に基づき分類します。



◆優先順位の考え方

A) 躯体・・・予防保全に分類した上で計画し、Ⅲ判定の剥落対策、Ⅱ判定の再塗装の順に補修をすることが望ましいと考えました。

B) 設備・・・予防保全（時間計画保全・状態監視保全）、事後保全に分類した上で計画し、設備の重要性に応じ、保全区分を使い分け計画します。

◆計画期間

計画期間は30年（H31～H60）とし、短期、中期及び長期の計画を設定しました。なお5年毎の定期点検結果、社会構造の変化等を考慮し、状況に応じて計画は見直していきます。

◆長寿命化計画

年間で投資できる額に限りがあります。30年間の維持管理費用の優先順位を整理した後、予算を平準化したグラフを以下に示します。

平準化後のグラフが本長寿命化計画を示します。

（※イメージ図）

